

第1902回埼玉県教育委員会定例会

- 1 日 時 令和3年3月9日(火) 午後2時開会
午後2時55分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 高田教育長、後藤教育長職務代理者、伊倉委員、遠藤委員、石川委員、
戸所委員、萩原副教育長、佐藤教育総務部長、日吉県立学校部長、関口
市町村支援部長、小出高校教育指導課長、青木県立学校部副部長、片桐
市町村支援部参事兼小中学校人事課長
栗原書記長、古澤書記、森山書記
- 4 会議の主宰者 高田教育長
- 5 会 議
- (1) 議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 高田教育長が、後藤教育長職務代理者を議事録の署名者に指名した。
- (2) 報告事項
- 第30回埼玉県産業教育フェアのWeb開催について
- 小出高校教育指導課長 (提出理由、概要、主な特徴、成果及び第31回全国産業
教育フェア埼玉大会について説明)
- 後藤教育長職務代理者 埼玉県産業教育フェアについては、私自身、毎年楽しみに
しています。生徒たちが元気な顔や声で活動成果を発表するのもそうですが、
一生懸命に作った農作物であったり、お花だったりのお土産を両手いっぱい
買って帰る楽しい機会だと思っています。今年は、コロナ禍でWeb開催とな
りましたが、私も何度かウェブサイトを見させていただきました。先ほどの映
像にもあったように笑顔で活動報告をしている生徒たちの姿を見て、開催でき
て非常に良かったと思っています。産業教育フェアについては、生徒たちの日

常の成果発表の場でもありますが、県立高校を目指している中学生にとって、どんな学校なんだろう、どんな生徒たちがいるんだろうと学校を知る機会としても、大きな役割を果たしていると思います。また、学校に通う子供の保護者にとっても、子供がどんな学校でどんなことをしているのかを見るのに非常に良い機会だと思っています。さらに、卒業して社会に出ていくその学校に通う生徒たちにとっても、自分たちの活動が社会とどうつながっているのか、それを実感できる場でもあると思います。あわせて、フェアに来られる社会人や企業の方にも、その学校にどんな生徒たちがいて、当社とどんな関わりがあるのか知ってもらえる場、生徒たちの出口につながるコネクションの場でもあると思っています。今年はWeb開催でしたが、今年のやり方や内容が全てではありませんので、また来年、進化させていくことが大切だと思います。特に、来年度は全国産業教育フェア埼玉大会になりますので、前例にとらわれずに、是非、いろいろなことを試みて、いろいろな成果を求めていってほしいと思います。飽くまでも生徒主体の実行委員会で作って、生徒たちの考え方を全面に出して開催できたらと思います。県教育委員会には、よりサポート体制を整えてもらって、この産業教育フェアを迎えてほしいと思います。1点伺いたいのは、来年度の全国大会とは別に埼玉大会も開催されるのでしょうか。

小出高校教育指導課長 第31回全国産業教育フェアは、埼玉県産業教育フェアを兼ねて実施いたします。

後藤教育長職務代理者 ウェブサイトの動画再生回数について説明がありましたが、埼玉県産業教育フェアの再生回数としては、割と少ないと感じました。ウェブサイトの広報等は行っているのでしょうか。

小出高校教育指導課長 後藤委員のお話のとおり、県立高校を目指している中学生はもとより広く一般の方にも知っていただきたいと考えています。今後、ウェブサイトの閲覧を促すようなメッセージを生徒実行委員会で作成しまして、そのメッセージを県立高校や教育事務所等を通して小・中学校に届けたいと考えています。

後藤教育長職務代理者 広報についてはチラシやメールマガジンがあったかと思

いますが、効果の高い広報は、やはりSNSの活用だと思います。今回企画した生徒たちもフェイスブックだったり、インスタグラムだったり、様々なSNSを利用していると思います。SNSを通じた広報が一番効果があると思います。チラシを作るといった今までどおりの広報・PRだけではなくて、広報にも生徒たちが主体となって取り組んでもらえたらと思います。広報に注目しないと成果は上げにくいと思います。来年度に期待したいと思います。

伊倉委員 専門高校の生徒は卒業してすぐに社会に出る子が比較的多いので、専門高校の生徒にとって、この機会は、社会への第一歩のような社会との接点の場で、本当に有意義な場であると感じています。来年度全国産業教育フェア埼玉大会が行われますが、そういう意味でも、これから大きな潮流になっていくSDGsについては、生徒たちに投げ掛けるテーマの一つにしていきたいと思います。彼らが社会に出ていく時には、そういった視点が非常に重要になってくると思います。そうしたテーマをどんどん提案していくと、より社会との接点が近くなって進化できるのではないかと思います。活動の成果発表の場ではありますが、社会へのデビューの場でもあるような位置付けであっていいのではないかと思います。生徒たちが作る制作物は、大人が作るよりも面白いので、どんどんチャレンジしてもらいたいと思います。

高田教育長 小・中学校でも1人1台端末が整備されて、中学校では、授業の一環で3年生を中心に学校調べが行われると思います。その中で、専門高校についての学校調べも行われると思いますので、生徒たちが生き生きと活躍している場面をこうしたWeb上でたくさんの方に見ていただいて、専門高校に関心を持ってもらいたいと思います。来年度全国大会がありますので、引き続き生徒のアイデアを生かしながら、斬新な企画になるように取り組んでいきたいと思っています。

(3) 次回委員会の開催予定について

3月22日(月)午前10時

< 非公開会議結果 >

第 19 号議案 教職員の人事について

令和 3 年度当初埼玉県立学校の校長の人事異動を決定しました。

第 20 号議案 教職員の人事について

令和 3 年度当初埼玉県公立小・中学校等の校長の人事異動を決定しました。